

角張っていた柱は やわらかく
主を支えた手すりは つややかに

床に走るひとつひとつの傷からは
なぜか誇らしさを感じる

100年前 わたしの知らない歴史があつて
100年後 わたしの知らない景色を見るだろう

目をつむると ゆるやかで あたたかな息づかいを感じる
ふと 窓に目をやると 雪が音も立てず 静かに降っていた

守り続けてきた この家
守られていたのは この私

買いたい、売りたい 貸したい、借りたい をむすぶ

北海道空き家情報バンク

<https://www.hokkaido-akiya.com/>



◎空き家が増えています

近年、人口減少や既存住宅の老朽化、住宅に対する社会的ニーズの変化に伴い全国的に空き家が増加しており、北海道においても空き家の戸数は約39万戸、住宅総数に占める割合は14.1%と推計され（平成25年の国の調査による）、今後も少子高齢化とともにさらなる空き家の増加が予想されます。

◎空き家はなぜ問題なの？

人の管理が行き届かなくなった空き家は、傷みの進み具合が早くなり、やがて崩壊し、通行人への危害など交通への悪影響とともに、防犯など周囲の環境や衛生状態の悪化のほか、観光立国である北海道の景観を阻害するなど、多くの問題を生じさせます。

◎北海道空き家情報バンクは

「北海道空き家情報バンク」は、所有者等から登録された北海道内の空き家や空き地の情報をインターネットにより情報発信し、サイトを閲覧した方が購入（または賃借）することで、空き家等を有効活用し、流通促進につなげるものです。北海道の移住ポータルサイト「北海道で暮らそう！」や市町村バンクと連携しており、多くの移住関連情報を得ることができます。

「空き家」ガイドブック

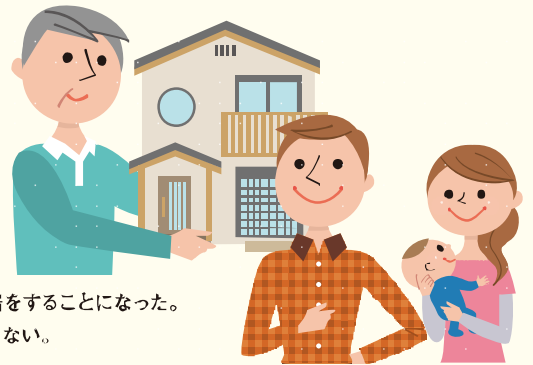
「空き家」の何が問題で、問題にならないようにするにはどうしたらいいのか。
いま現在空き家の所有者ではないという人にも将来的に役立つ情報満載です。

全国的にも問題になっている空き家。しかし、人の住んでいない家の全てが問題なのではありません。問題なのは人が住まなくなり、手入れのされない状況が続くことです。手入れをしないと家の劣化は進み、風で家の一部が飛び散ったり、壊れたりすることもあります。また

ゴミが不法投棄されるなど景観も悪くなり地域全体にも悪影響を及ぼすのです。お手入れを定期的に行えば、その後の管理のコストも下がり、資産価値が下がるのを防ぎます。空き家を積極的に活用していきましょう。

01 様々な事情で「空き家」が増えています

空き家になる事情は実に様々。自分や親が住んでいる家だけでなく、相続の関係で遠い親戚の家の管理者となる可能性もあります。

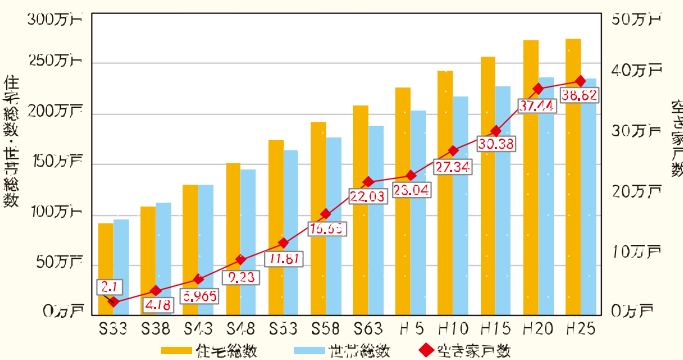


- 親が亡くなり実家が空き家となった。
- 手入れが負担になり戸建てからマンションへ引っ越した。
- 高齢となった両親が子どもの家で同居をすることになった。
- 独り暮らしをしていたが、高齢になり施設に入ることにした。
- 転職になった。戻ってくる時期がわからない。

02 道内でも空き家が増加中

住宅総数が世帯総数を上回っています

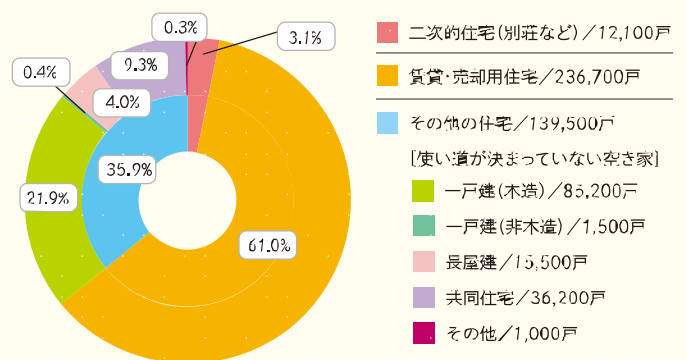
道内における住宅総数・世帯総数・空き家戸数の推移【資料：平成25年住宅・土地統計調査（総務省）】



住宅総数が世帯総数を上回り空き家が増加しています。

空き家の約1/3の使い道が未定

道内における空き家の内訳別の建て方【資料：平成25年住宅・土地統計調査（総務省）】



使い道の決まっていない空き家のほとんどが戸建て住宅です。

空き家情報バンクを活用しよう！

www.hokkaido-akiya.com/

北海道空き家情報バンク

平成28年4月に北海道内の空き家を検索できるサイトがオープンしました。所在地から検索ができるのはもちろん、「山・川・森のある暮らし」「温泉のある暮らし」など希望するライフスタイルや、「学校が近い」「医療施設が充実」など住環境を重視しての検索も可能。ほかの地域

からの移住を考えている人向けには空き家の情報だけでなく、移住情報や仕事情報も充実しており、空き家の活用を全面的にバックアップしています。独自の空き家バンクを運営している市町村もありますので住みたい場所が決まっている場合は、その市町村にも問い合わせしてみましょう。



